

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1 年	1	選択
担当教員			
青木 順			
G（現代ビジネス学科）	L（基礎科目）	LG（語学・言語学）	107（基礎・入門科目）

授業のねらい（概要）	中国語Ⅰで学んだ文字・文法をもとに、語彙・表現の更なる習得を目指す。本講座は基礎的な語彙・文法を適切に運用・構成し、自らの言葉として発信する能力（日常会話能力）を身に付ける事を目標とする。なお、中国文化に関する資料を適宜紹介し、中国の文化、社会に対する理解を更に深めていく。		
授業計画	第1回 前期の基本表現演習 第2回 朝ごはんはまだ食べていません。（否定の表現、活用、会話練習） 第3回 どこに住んでいますか？（「在」に関するいくつかの表現、活用、会話練習） 第4回 ビールをください。（「要」に関するいくつかの表現、活用、会話練習） 第5回 北京に行ったことがありますか？（「～したことがありますか？」の文法、活用、会話練習） 第6回 ここで写真を撮ってもいいですか？（「～してもいいですか？」の文法、活用、会話練習） 第7回 泳ぐことができますか？（「～ができますか？」の文法、活用、会話練習） 第8回 前半のまとめと演習 第9回 日本語が上手ですね。（「～するのが～」の文法、活用、会話練習） 第10回 どちらが好き？（選択の表現、活用、会話練習） 第11回 中国語は学べば学ぶほど楽しくなる（「～すればするほど～」の文法、活用、会話練習） 第12回 忘れないでね。（「～しないでね」の文法、活用、会話練習） 第13回 弟は私より四歳下だ（「～より」の文法、活用、会話練習） 第14回 後半のまとめ 第15回 会話の実践演習		
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	自らの言葉として発信する能力を身に付けることができる。		
到達目標	受講後には基礎的な語彙・文法を適切に運用・構成することができ、簡単な日常会話ができるようになる。		
課題や小テスト等のフィードバックの方法	小テスト等の全体的な注意点等を授業内で解説する。		
履修上の注意	外国語の学習は反復・継続することが何より大切なので、予習・復習などに積極的に取り組むこと。		
成績評価の方法・基準	課題への取り組み（40%） 期末試験（60%）		
教科書	講師作成のテキスト使用		
参考書・教材			
備考	演習科目		
教員との連絡方法	オフィスアワーを利用する。（授業当日13:45～14:15）		